

ひどすぎ

国政私物化、不祥事次つぎ、憲法こわし

都議選 怒り爆発、政権直撃



自衛隊私物化 稲田防衛相は罷免を

「防衛省、自衛隊、防衛大臣、自民党としてもお願いしたい」。稲田朋美防衛相が都議選応援で行った発言は、最も中立性が求められる自衛隊という実力組織を選挙のために利用する重大発言。即刻、辞任に値します。



自民党議員の不祥事

宮崎 謙介 (京都3区)	辞職	「育児休暇」取得を宣言しながら、女性タレントと不倫。議員辞職(16年3月)
中川 俊直 (広島4区)	辞任	女性問題で経産政務官を辞任(17年4月)
豊田真由子 (埼玉4区)	離党	政策秘書の頭を殴ったり、「死ぬ」などと暴言を吐いたことが報じられ、離党(17年6月)

「共謀罪」法を、委員会を一方的に打ち切り、本会議に持ち込むという「禁じ手」を使って強行した安倍政権と自民・公明。一方で「加計・森友」疑惑は募引きを狙う。都議選ではこれへの怒りが示されました。

加計 官邸ぐるみの大疑惑

「加計学園」の獣医学部新設問題で、首相最側近・萩生田光一官房副長官の関与の疑いが浮上。官邸ぐるみで行政をゆがめた重大疑惑に。首相は「真摯に説明責任を果たす」と言ったのに、臨時国会開催要求も拒否。



安倍首相(左)、加計理事長(中央)、萩生田光一官房副長官(右) 13年5月、安倍氏の別荘で

森友 昭恵夫人の喚問拒否、疑惑未解明

開設予定の小学校は当初「安倍晋三記念小学院」と命名。首相の妻・昭恵氏付の政府職員が財務省に土地取引について問い合わせるなど不透明な経過を重ねたあげく、用地を8億円も値引き。しかし首相や与党も、カギを握る昭恵氏の証人喚問を拒否。疑惑は未解明です。



申請が取り下げられた「森友」小学校

9条改憲は断念せよ

安倍政権が強行した3つの違憲立法——国民の目と耳と口をふさぐ秘密保護法(13年)、自衛隊が海外で武力行使をすることを可能にした戦争法(15年)、「内心」を処罰する共謀罪法——。いずれ

「戦争する国」許さない

も「海外で戦争する国」づくりの道具立てです。3つを廃止し政治に立憲主義、民主主義、平和主義を取り戻しましょう。安倍政権は、都議選の審判をうけ9条改憲は断念すべきです。

民主主義の荒廃した姿「朝日」
立法府の劣化深刻「毎日」
慢心長期政権に暗雲「読売」

メディアも批判

日本共産党

野党共闘 ここに新しい政治の力が

4野党 総選挙での協力加速

安倍政権を倒し、新しい政治をつくる力は野党と市民の共闘にあります。4野党は党首会談(写真)で「安倍政権の下での憲法9条改悪に反対」することで一致、総選挙での協力協議を加速させることを確認しています。

